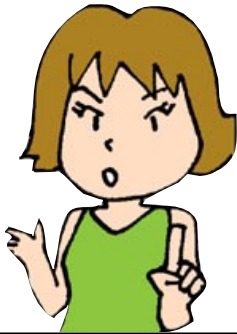


この画面の中にどんな危険がありますか？（自転車乗用中）

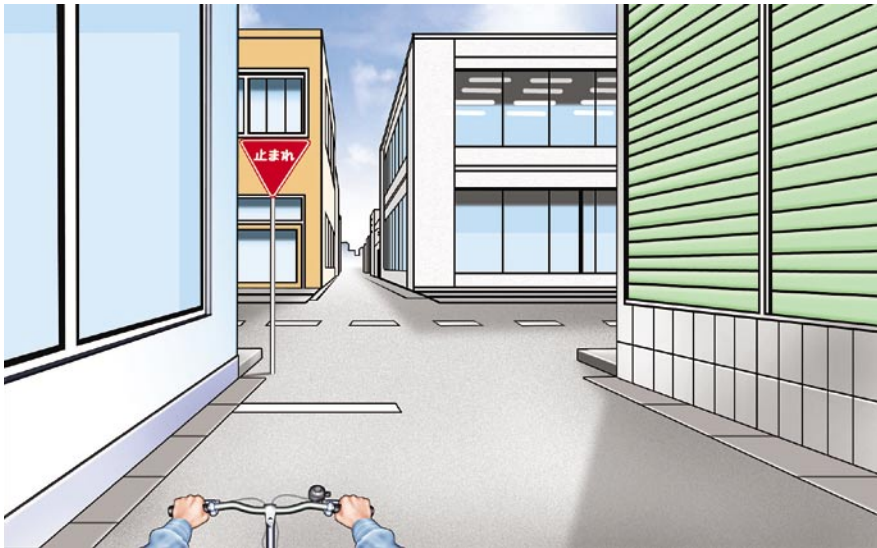


自転車事故の多くは、「一時停止をしない」や「安全を確認しない」ことが原因。事故を防ぐには、頭を使って、危険を予測し、危険にあわないよう冷静に行動することです。

### まとめクイズ

#### 友達や家族の方とやってみましょう

あなたは、自転車で下のような信号機のない交差点にさしかかりました。時間は夕方、道は下り坂で、あなたは交差点を越えてまっすぐ進むつもりです。



Q1. どのような危険がありますか？

-----  
-----

Q2. どのような行動をとればよいと思いますか？

-----  
-----



→解答は次ページに！



## Q1.

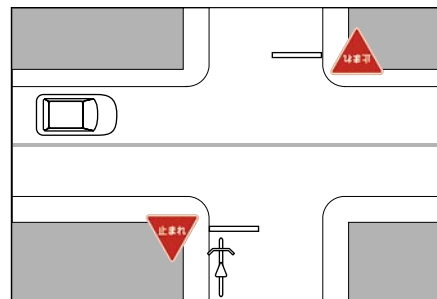
この交差点は、建物の影になって左右の見通しが悪くなっています。「一時停止」の標識もあります。この標識がある交差点は、事故が起きやすい場所だとまず考えましょう。

次のような「見えない危険」が予測できます。

- ・いまは見えないが、交差している前の道路には、この交差点の方向に走ってくる車がいるかもしれない
- ・見えない車の中には、この交差点を左折して入ってくる車がいるかもしれない
- ・あなたの後ろにいた車が、あなたを追い越し、急に左折するかもしれない
- ・交差している道路の歩道を、歩行者や自転車が横切るかもしれない
- ・あなたの走る道は下り坂なので、速度が過ぎて、ブレーキをかけても手前で止まれないかもしれない
- ・車のライトが見えるかもしれない  
(このほかにも、お友達や家族の方と話し合い、思いつく危険があればあげてみましょう)

## Q2.

「見えにくい危険」の多い交差点では、「一時停止」標識のありなしに関係なく、必ずきちんと停まって安全を確認することが大切です。とくに、夕方はものが見えにくくなり事故の多い時間帯です。徐行しただけでは危険を見落としてしまう可能性が高くなります。スピードが出ているから止まるのは面倒くさい、などと思わないことです。

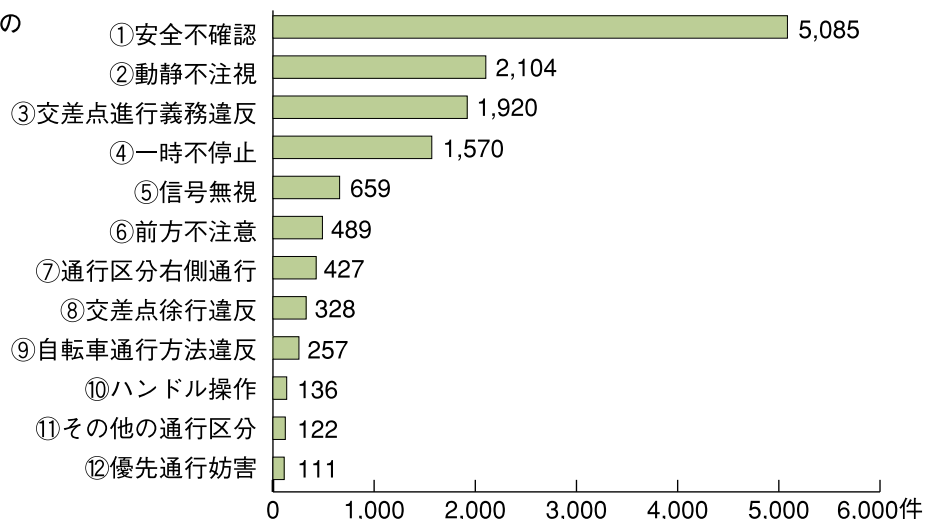


## コラム 1

### 自転車事故を起こしたときの違反

違反のワースト12のうち、操作に関連した違反は10位のハンドル操作だけ。情報の見落としや判断の誤りに関係する違反がほとんどです。

グラフ1 16～18歳の自転車事故の  
主な法令違反12



(財)交通事故総合分析センター 平成20年

## ●「危険を予測する」ことの大切さ

予測していれば、事故を避けることができます。  
「見えない危険」を見つけだす目を持ちましょう。

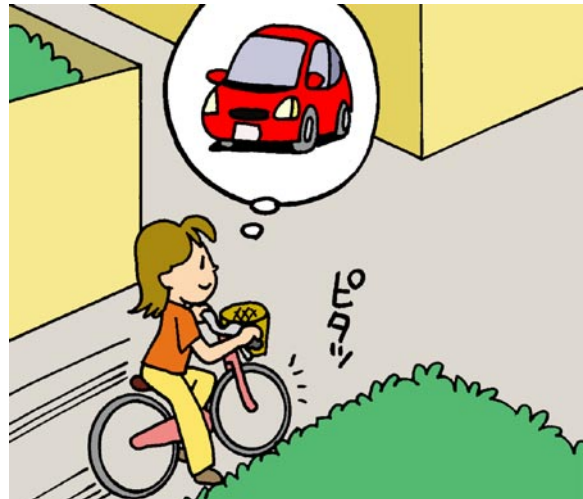
### 事故から身を守ろう

自転車が一方の当事者になった人身事故は、年間で16万件以上起きています。その中で、高校生年代（16～18歳）の自転車事故は、約2万件以上にのぼります。事故の相手は四輪車が約83%です。事故になると、たとえどちらに過失があっても、自転車の方が受ける被害が大きくなります。交通ルールを守るだけでなく、積極的に事故から身を守るという考え方が必要です。

### 次に何が起きるか考えよう

事故にあわないためには、どのようなことが大切なのでしょう。たとえば、ボールが投げられることがわかっていれば受け止められますが、思いがけないときに飛んできたボールは受け止められずに落としてしまうでしょう。

同じように、「飛び出しがあるかもしれない」「車が来るかもしれない」などと危険を予測して行動していれば、事故を避けることができます。コラム1のグラフは、16～18歳の自転車事故の主な原因になったと思わ



信号のない交差点では見えない危険を予測しましょう

れる、事故直前の違反です。「安全不確認」による事故が非常に多いことがわかります。危険を意識せずに行動したり、危険の知識がなくて、事故にあってしまうのです。「見えない危険」を見つけだす目を持ち、事故を避ける行動をとってください。

## コラム 2

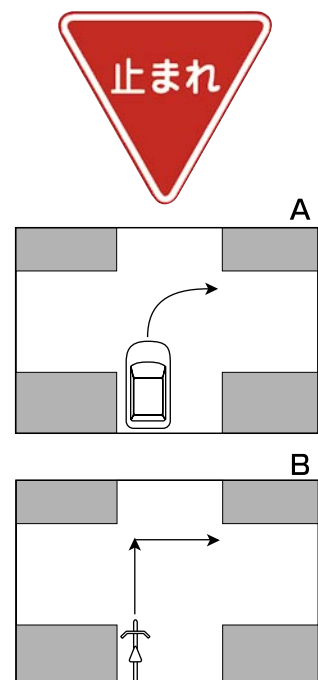
### 「一時停止標識について」

一時停止の標識は、信号機のない交差点で、飛び出すと事故になりやすい場所につけられています。安全な通行の手順は次の通り。

- ①停止線でいったん停まる
- ②その位置から交差している道路の左右が見えないときは、見えるところまで徐々に出る
- ③左右の安全を確認して、交差点に入る。道路の車だけでなく、歩道を歩く小さな子どもや犬などの飛び出しも考えられるので、歩道部分の安全も確認する

### 自転車で交差点を右折するときは

自転車で交差点を右折するときは、四輪車のような右折方法(A)ではなく、一度道路を横断してから右に方向を変える二段階右折(B)を行います。車体の小さい自転車や原付は、見落とされたり巻き込まれたりしやすいので、右折時にはこの方法を守りましょう。





新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

1. あなたの通学路に、一時停止標識はいくつありますか？ 今日授業を受けて、これからはどんなことに注意してその場所を通ったらいいと思いますか？

→

-----

-----

-----

-----

2. 家の周りや通学路で、今までヒヤリとしたり危なかった経験はありますか？ そのときのことを思い出して、下の枠の中に危険予測の問題を作ってみましょう。

3. 2. で作った問題を友達や家族の方とやってみて、安全な通行方法について話し合ってみよう。

### 【あなたが作る危険予測問題】

あなたの身近な場所でのヒヤリ体験から、危険予測問題を作ってみましょう。

● 右の場面の解説

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

(ここに危険場面のイラストや写真を貼りましょう)

● どのような危険がありますか？

-----

-----

● どのような行動をとればよいと思いますか？

-----

-----